

## ASGSR Annual Meeting に参加して

尾崎 優作<sup>1</sup>

2017年10月25日から28日にアメリカのシアトルにおいて開催されたASGSR (American Society for Gravitational and Space Research) Annual Meeting に参加しました。この学会は宇宙に関する様々な分野の研究者が集う国際学会であり今回で33回目の開催です。私は開催3日目の「LS Systems 1: Musculoskeletal System 1-Muscle」という筋生理学、生化学を中心としたセッションでの口頭発表と翌日のポスター発表に参加しました。演題は「Effects of MnSOD treatment on the properties of rat soleus muscle during gravitational unloading」で、不活動時のラットに対して抗酸化物質MnSOD投与が及ぼす影響について発表しました。

国際学会での口頭発表は初めての経験で、想像以上に緊張しました。たどたどしい英語でしたが、会場にいる海外の方々は優しく見守って下さり、無事発表を終えることができました。明らかに英語の話せない日本人の学生だということが分かっていたからか、発表を終えると、「よく頑張ったね」や「昨日の発表を見て興味をもったよ」など、多くの声掛けを見ず知らずの外国人の方たちに頂いて、心が救われ、嬉しい気持ちになりました。ポスター発表でもたくさんの質問やアドバイスを頂き、つたない英語ですが活発なディスカッションができました。口頭発表もポスター発表もまだまだ完成度の低い未熟なものです。国際学会で発表をなんとかやり切ったということは大きな自信になりました。

自分の取り組んでいる研究や他の研究を見て思ったことを英語で伝えるのは難しかったです。案外通じたり、全く通じず愛想笑いされたりと様々な反応が返ってきましたが、それもまた日本には味わえない良い経験になりました。英語が減茶苦茶でも気にせず堂々と話していれば、何となくでもコミュニケーションが取れるということも海外に行って初めて分かりました。英会話もその他の事柄も、「とりあえずやってみる」ということの大切さを実感することができました。

学会には様々な分野の学生が積極的に取り組んでおり、同じ大学院生というのが信じられないようなレベルの研究や発表をしている学生もいました。上ばかり

見ているもきりがありませんが、下を見ているも仕方がないので、今よりも少し頑張って彼らに負けないように自分も努力していかなければならないなど、良い刺激をもらうことができました。

今回の学会発表では幸運なことに「Student Travel Award」というアメリカ国外から参加した学生に贈られる賞を受賞することができました。自分で良いのだろうかという気持ちもありますが、修士課程になって半年間、自分なりに研究を頑張ってきた成果を評価してくださったので有難く受け取っておきました。国際学会で発表をして、賞まで頂くというのはなかなかできる経験ではないと思います。自分は恵まれているなと実感しました。

### ・謝辞

学会参加のためにアメリカに滞在した1週間はたくさんの刺激をもらえた濃密な時間になりました。本学会の参加にあたり、大学院生国際学会発表奨励金を支給して頂いた同志社大学スポーツ健康科学会にこの場をお借りして感謝申し上げます。また、学会参加にあたって様々な面でサポートして頂いた方々に心よりお礼申し上げます。今回皆様が与えてくださった経験を活かし、今後も自己研鑽に努めたいと思います。重ね重ねになりますが、本当にありがとうございました。



1 同志社大学スポーツ健康科学研究科 (Graduate School of Health and Sports Science, Doshisha University)